

yagotosanbunko

# 八事山文庫

2025・春  
第八十二号



## 陶磁器と茶の文化



茶の文化において欠かせないものの一つに陶磁器、つまり焼きものの文化がある。美濃、尾張地域は古来から多くの焼きものを産出してきたことは知られるとおりである。瀬戸物、美濃焼、などはその代表例と言えるだろう。

その焼きものを大別すると陶器と磁器に分けられる。詳しいことはさておき、感覚的には陶器は柔らかい感じがして土っぽい、それに対して磁器は固くて端正と言えようか。日本的な茶の湯においては、どちらかといえば陶器の方が親しみやすい気がするし、実際お茶会などにおいても使われるお茶碗の多くは陶器である。茶の湯のみならず和食など日本的素材の器としては陶器が似合うし、フランス料理など洋食の場合はやはり磁器の美しさがびつたりくる。

扱って、陶器も磁器も同じ焼きものなのにその感覚的な違いはどこからくるものであろうか。意匠的な異なりもあるだろうが、それだけとは言えないもつと根源的な違いがあるのではないかと私は考えている。それは、素材である「土」から

ん離れて全く別の感覚物を創作しようとするベクトルの先端こそが磁器であり、その到達点が中国宋・明時代の青磁や白磁に象徴される作品であるうし、マイセンやロイヤルコペンハーゲンに結晶された清冽な美しさであろう。

それに対して、備前・信楽・伊賀などの焼き締めや、美濃や瀬戸に代表される茶の湯に用いられる茶碗や花入れなど「和もの」陶器の一群がある。いや、茶文化以前からの六古窯と云われる日本的焼き物も多く残されているし、現代茶陶作家の多くもまたそれらと方向性を同じくする。前者の一群が土から遠心的にあつたのに対し、日本の茶の湯文化が求心的に土に潜り込む方向性にあるということとは「土」という自然からの恵みと「侘び」という自由奔放な形・作風が神秘性へと導かれていったのは当然の道筋であった。

混迷を極める現代の世相、世界を鑑みるに、利便性と経済的拡大性のみを求めて尽きない人間社会への神秘からの最後警告であると受け止めるべきであろう。

住職 西部 法照

## Column

暮らしの中で

近年は自然災害が激甚化して、被災に関するニュースでは驚くような光景を目にすることが増えました。なんとという事もない平穏な暮らしがいかにかに有難いものであるかをしみじみと感じます。

そうした中で、人々の日々の安寧と国家安穩を願う象徴として、平成二十六年に興正寺の釈迦牟尼大仏は造像されました。そのお姿は、今からおおよそ三百三十余年の昔、八事の地に「八事山遍照院興正律寺」を開いた開山天瑞圓照和尚が日々祈りを捧げていた釈迦如来像が元になっています。

大仏とは、丈六（像の高さが四・八メートル以上）の大きな仏像の総称で、奈良の大仏（毘盧遮那仏）や鎌倉の大仏（阿彌陀如来）が良く知られています。興正寺の釈迦牟尼大仏は銅造で、像高七・メートル、重さ六トンの堂々としたお姿です。長らく五重塔前に仮安置されていましたが、令和六年十一月月上旬に五重塔東側に移られ、十二月末には奉納写経を胎内にお納めさせていただきました。令和七年一月からは基壇整備と周りの植栽整備を進めてまいります。

ご来寺の際は新たな場所にお立ち寄りいただき、参拝いただければ幸いです。木々の中、変わらぬ穏やかなまなざしで皆さまを迎えてくださいます。

## 興正寺 釈迦牟尼大仏



天瑞和尚が日々祈っていた  
釈迦如来像の掛軸

## 寺ごよみ 百景

SNS View!

#八事山興正寺



Facebook



Instagram

# 密厳堂落慶法会

興正寺に有縁の皆さまの供養と祈禱のお堂として、令和七年春、新たに「密厳堂」を建立いたします。その慶事に際し、五月十日、十一日の二日間にわたり、落慶法会を執り行います。檀信徒の皆様におかれましては、ぜひ御来寺いただき参加賜りますよう御案内申し上げます。

日時 五月十日(土) 落慶法要

十一日(日) 合同祈禱、記念茶会

## 落慶法要【完全招待制】

五月十日

十二時

披露株・入堂

役稚児加持祈禱

献茶式

参列者焼香

十四時三十分 式典

## 合同祈禱、記念茶会【一般参加可】

五月十一日

十時～十一時三十分 稚児加持祈禱

十三時～十四時三十分 一般加持祈禱

十時～十四時 記念茶会

十時～十四時 秘仏開扉(観音堂・能満堂)

## 合同祈禱

密厳堂本尊大日如来の御宝前にて、合同の加持祈禱を執り行います。どなたでも参加いただくことができます。願いを書き記した護摩木を、ご自身の手で護摩の炎に投じて御祈願ください。

五月十一日は「密厳堂」で行う最初の護摩祈禱です。稀なこの機会にぜひ参加ください。



合同祈禱護摩木 一本 千円

## 稚児行列

お子様の健やかな成長を願い参加いただく稚児行列。今回は御堂の落慶法会という慶事でもあり、ひととき貴重な機会です。密厳堂本尊大日如来の御宝前にて、加持祈禱をいたします。

役稚児 三万円

※五色の衣装よりお選びください

※加持祈禱の後、国指定重要文化財の「興正寺五重塔」内を巡り御守授与



稚児 一万円

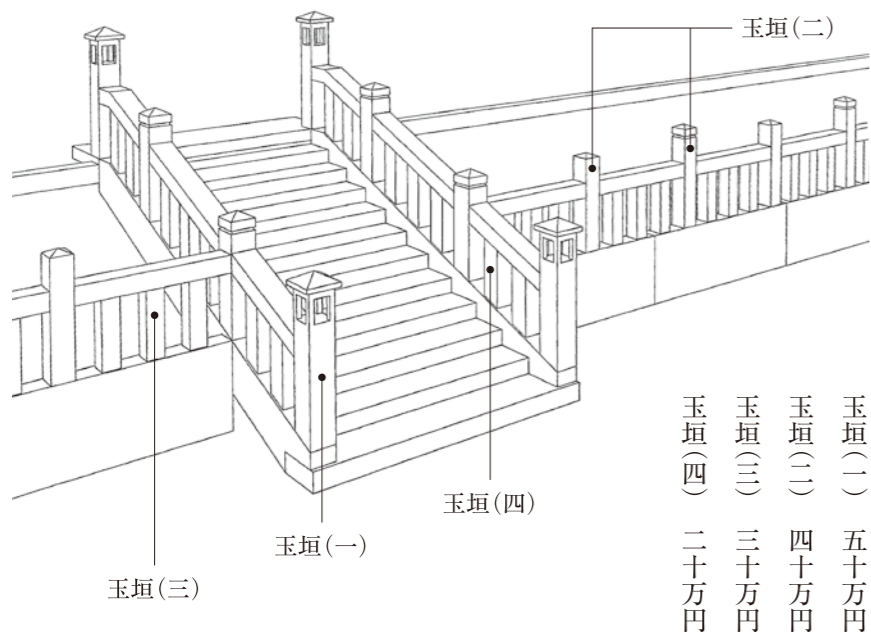
※加持祈禱後、御守授与



## 密厳堂への志納勧募

本尊大日如来、四仏、両部曼荼羅、真言八祖、十二天、並びに玉垣を奉納いただけます。奉納者の御芳名を各所に刻み、末永く留めて益々の御繁栄を御祈念申し上げます。

お申込み希望の方は、お問合せください。



《お問合せ先》電話052-832-2801(8時～17時)

# 春季彼岸会

仏教では、わたしたちの生きる世界を「此岸」、生と死の境界を超えた世界を「彼岸」といいます。太陽が真東からのぼり真西に沈む春分の日、東の此岸と西の彼岸がもつとも近づく日です。古来より春分の日前後三日を合わせた七日間に供養をすれば極楽浄土へいくことができることとされ、先祖供養が行われます。

## 春季彼岸合同供養会

日 時 三月十七日(月)～二十三日(日)

十時/十一時半/十四時

※受付は各回十五分前まで

(所要時間四十分～五十分)

※卒塔婆は、事前のお申込みをお願いいたします。当日申込みは、後日納めさせていただきます。

場 所 光明殿二階(受付二階)  
卒塔婆 一尺 五千元/四尺 一万円  
五尺 一万五千元/六尺 二万円  
申込期限 郵便 三月七日(金)

## 興正寺施主慰霊法会

日 時 三月二十日(木) 十六時

場 所 西山本堂

## 永代祠堂法会(招待制)

西山本堂奥に位置する霊牌殿に永代祠堂位牌をお祀りされている方を対象とした法会です。

日 時 三月二十二日(土)

場 所 西山本堂

申 込 別途送付する招待状をご確認ください。

## お供物

春季彼岸会の期間中、ご先祖様にほた餅やお花をお供えいたします。

施主名を堂内にあげさせていただきます。

奉納料 一口 千円

申込期限 郵便 三月七日(金)

申込期限 来寺 当日

## 圓照堂の参拝について

左記の期間は、お位牌・お骨出しは出来かねますので、ご了承ください。

事前のご予約も受け付けておりません。

期間/三月十七日(月)～二十三日(日)

## 動物慰霊法会

日 時 三月二十日(木) 十四時

場 所 西山本堂

供養料 五千元より

申込期限 郵便 三月七日(金)

申込期限 来寺 当日

## 人形仏具供養会

思い出がたくさんつまった人形や長年使ってきた仏具に感謝を込めてご供養します。

彼岸期間中は事前受付をいたしますので、供養したい人形や仏具がありましたらお持ちください。

日 時 三月二十三日(日) 十三時

場 所 西山本堂

供養料 一口 三千元より

申 込 供養品の受付は来寺のみです。

三月十七日～二十二日

納経所(九時～十七時)

三月二十三日

西山本堂(九時～十三時)

## ●一口の目安

三辺の合計が100cm以内の段ボール箱、もしくは45ℓ相当の袋に入る程度。(大きさが100cmを超える場合は、一口五千元以上となります)

## ●供養品例

雛人形、五月人形、ぬいぐるみ、御守、御札、念珠など。ガラスケース入りの人形などは、安全の為、ケースを外し人形のみお持ちください。素材によってはお預かりできない場合がございますので、ご了承ください。仏具は事前に電話で、ご相談ください。

圓照堂  
骨壺変更について

圓照堂の舍利瓶落下破損防止のため、お出しする専用の骨壺を新たに用意する運びとなりました。つきましては、順次ご案内と分骨させていただきますので、何卒ご理解とご協力の程お願いいたします。

# 十三参り 名古屋の知恵参り

旧暦三月十三日は、

数え年で十三歳になる男女が

大人への二歩を踏み出す節目として災厄を払い、

知恵を授けていただけるよう

虚空蔵菩薩さまに参拝する日です。

興正寺の十三参りでは、

自身の志を漢字一文字に込めて

色紙に書く「祈念の書」があります。

授かった知恵をどのように伸ばしていくか、

そのためにどのような努力をしていくか、

決意を込めて書かれた文字は、

これから歩んでいく道標となるでしょう。

晴れやかに、厳かに。

新たな一歩を踏み出すお一人おひとりが

良き日々を歩まれますよう、

ご祈禱いたします。



令和七年対象 平成二十五年生まれの男女  
(満年齢でも受付いたします)

## 十三参りの日

合同祈禱会

日 時 四月二十日(日)

第一部 十時

第二部 十一時

第三部 十三時

第四部 十四時

※第一部、二部と第三部、四部で合同祈禱を行います

※所要時間は二時間程度

内容 祈禱/行儀作法講座

受付 納経所(十分前までにお済ませください)

祈禱料 一万円より

## 個別祈禱

※所要時間四十五分程度

日 時 ご希望の日時を事前にご予約ください。

受付 納経所(十分前までにお済ませください)

祈禱料 一万円より

## 祈念の書とは

自身の志を漢字一文字に込めて色紙に書き、ご祈禱します。



《申込》WEB申込/来寺申込(納経所)

催事のご案内



- 1/冬の宝物展
- 2/能楽に親しむ
- 3/マルシェ茶席
- 4/弥生の室礼

冬の宝物展 「要予約」

令和七年のカレンダーは僧侶が写仏した金剛界曼荼羅。その元となった曼荼羅を展示し、中道圭照僧侶に解説していただきます。解説は毎日十一時より。

日時 二月二十六日(水) 10時～15時  
三月三日(月) 10時～15時  
(最終入館14時半)

場所 耕雲亭  
拝観料 五百円  
申込 普門園拝観予約より

弥生の室礼 「要予約」

水がぬるみ、土が潤い、草木も次々と芽吹きはじめます。うらかな春の日をお楽しみください。

日時 二月二十八日(金) 10時～16時  
三月九日(日) 10時～15時半  
(最終入館15時半)

場所 竹翠亭  
拝観料 五百円  
申込 普門園拝観予約より

涅槃会

旧暦二月十五日に入滅されたお釈迦様の遺徳を偲び、涅槃図を掲げて法会を厳修いたします。

日時 三月十四日(金) 14時  
場所 西山本堂

大日堂大祭

年に一度の大日堂大祭を厳修いたします。お堂の周りに立てる幟をご祈祷し、奉納いたします。

日時 四月八日(火) 12時～14時  
場所 大日堂  
奉納幟 一本三千円  
奉納期間 四月八日より  
翌年三月八日まで



御正當

宗祖弘法大師は承和二年三月二十一日に高野山奥の院にご入定され、今なお衆生救済の祈りを続けておられます。

そのお心に報恩感謝をこめ、法会を厳修いたします。  
日時 四月十八日(金) 14時  
場所 西山本堂

花まつり

旧暦四月八日は、お釈迦さまが誕生された日です。それを祝して花々が咲き、天から甘露が降りそそいだことにちなみ、花御堂に奉安した誕生仏に甘茶をかけて参拝します。

日時 五月五日(月) 14時  
場所 西山本堂

開山忌記念茶会 「予約不要」

興正寺開山天瑞圓照和尚の遺徳を偲び、記念茶会を催します。濃茶席、薄茶席の二席です。

日時 三月十五日(土) 受付 9時～14時  
場所 竹翠亭・耕雲亭 受付は西山本堂横  
茶券 二席 三千円  
懸釜 濃茶席 表千家 長谷川 如隠 薄茶席 裏千家 神谷 宗銀

講座 能楽に親しむ 「要予約」

「能と呈茶でおもてなし 春、桜にちなむ「能」」  
新春には梅、春先には桜が登場する能を紹介いたします。物語や言葉の意味、動作の解説を交え、能の謡(声のみの歌)と仕舞(見所を抜粋した舞)の実演を鑑賞いただきます。ゆつたりとした春のひとときを堪能ください。

日時 三月二十三日(日) 10時半～12時  
場所 竹翠亭  
定員 二十五名  
参加費 三千円  
申込 WEB受付

興正寺月釜 「予約不要」

茶どころ名古屋と称されるほどに日常のなかに溶け込んでいた茶の湯。そこには人や文化の豊かな交流がありました。一期一会の茶席に集う楽しみを見つけてください。

日時 四月十九日(土) 受付 9時～14時  
場所 竹翠亭 受付は西山本堂横  
茶券 二席 二千元  
懸釜 本席/裏千家 伊藤 宗房 添席/興正寺担当

マルシェ茶席 「要予約」

僧侶のお点前によるお茶席です。  
日時 四月二十一日(月) 10時～12時  
五月二十一日(水) 10時～12時  
場所 竹翠亭  
茶券 千円  
申込 普門園拝観予約より  
※三月は彼岸中のためお休み



講座・催し WEB申込



普門園拝観(室礼) マルシェ茶席

行事のご案内



- 1/涅槃会
- 2/御正當
- 3/大日堂大祭
- 4/花まつり

# 八事の森に親しみ、未来を育む。

名古屋国際中学校・高等学校 SDGs未来倶楽部Sus-Teen!

(写真右より)西井眞優さん/服部優奈さん/高井項太さん/安形一輝さん(全員高校2年生)  
顧問:黒宮祥男先生

「生き物が好きで川のゴミ拾いなどにも興味があったのですが、SDGsの取り組みをしている部活がある」と知り、参加しました。(西井)

「私は小学生の頃から政治家になんかたくて、社会や環境問題にも関心があったので、SDGsを実践する学校があると知り、受験をしました」。(服部)

八事山興正寺内に広がる豊かな里山と森、その保全活動を行う市民団体「八事里山づくりの会(昭和区)」と連携し、部活動の一環として森づくりに携わるユースメンバーの皆さん。『Sus-Teen』は、2015年に発足し2019年に創部、現在主に15名ほどで活動しています。

持続可能な社会を目指した取り組みの中でも、興正寺の森では木々の整備をはじめ、(八事の森の春まつり)の案内スタッフや間伐材を使ったワークショップなどで積極的に運営にも参加。自然とふれあいつつ、地域住民との交流を深めています。

活動のきっかけは?



「名古屋の街なかにこんなに豊かな自然があることに驚きました。足元にいろいろな虫を見つけて遊んだり、木立ちの中を歩いているだけでも楽しいし、リフレッシュになります」。(安形)

「去年までは見かけなかったキノコが、秋ではなく夏に大量に生えているのを発見して、気候変動の影響を実感したり、古いジュースの瓶が土の中から発掘されたりと、普段なら見過ごしかねない驚きや気づきがあります」。(高井)

「街では知らない人に声はかけないけれど、森の中ではみな自然に挨拶をしあうこと。イベントでは、高齢の方から子ども達まで幅広い世代と交流できるのも新鮮でした」。(服部)

「人とのコミュニケーションが得意ではなかったのですが、いろいろな出会いの機会が増え、抵抗なく楽しく話せるようになったことが嬉しいです」。(西井)

近年は活動メンバーの高齢化にもない、次世代へのバトンが課題と

## 〈八事の森の春まつり〉

毎年4月29日の昭和の日に、「環境とエコ、森と自然」をテーマに市民・学生・商店街・行政が一堂となり興正寺と興正寺公園にて開催します。

お問い合わせ  
昭和区役所区政地域推進課  
TEL:052-735-3822



SDGs未来倶楽部Sus-Teen!  
(@susteennih)



「子どもたちが心地いいと感じてくれる森づくりを大切に、まずは、森と遊ぶ」という感覚で参加してもらえたら」と、全員からメッセージ。皆さんも八事の森で自然の息づかいを感じてみませんか。

なっています。一緒に楽しみ、交流の輪を広げていこうと、SNSでの情報発信にも力を入れています。

「子どもたちが心地いいと感じてくれる森づくりを大切に、まずは、森と遊ぶ」という感覚で参加してもらえたら」と、全員からメッセージ。皆さんも八事の森で自然の息づかいを感じてみませんか。

一服の  
たしなみ  
たのしみ

## 教えにふれる



興正寺には千本ほどの掛け軸があります。創建から今日までに集まった品々ですが、その内容は仏画、書、日本画、水墨画と多岐にわたります。その中で年越しの頃に思い出すのは「二休骸骨図」です。

一休さんは、將軍様とのちんちでのやりとりが人気だったアニメの印象が強く、多くの方が親しみを感じている人物でしょう。一方で、子どもの一休さんではなく、市井に溶け込むように歩んだ一休禪師もまた多くの逸話を残しています。

その昔、人は誕生日に歳をとるのではなく、年が改まると皆一斉にひとつ歳をとりました。新年と歳を重ねた二重の喜びで皆がお祝いをする中、骸骨の頭を刺した棒をかついだ一休禪師が市中を歩いてまわったのです。おめでたい日になぜ骸骨など持ち歩くのか!と皆は口々に問いかけました。

一休禪師は答えます。確かに正月はめでたい日だ。しかしその一方で、歳をとるといことは死ぬまでの年月が短くなったということでもある。めでたい面だけに浮かれず、残りの年月にも思いを寄せ、先祖や隣人に感謝をすべきである。だから骸骨で皆にそれを気づかせるのだ、と。

さて、寺の茶室・竹翠亭では茶の湯体験をお受けしており、多くのお客様がお越しになります。お国柄や目的により興味を示すところが異なり、時にすろい感想や質問で私たちに原点を思い起こさせてくれます。

茶人千利休が弟子に伝えた茶の湯の心得「利休七則」。これは現在でももてなしの真髄とされているものです。主体は自分ではなく、向き合う人やモノがあることを認識し、その間をやりわらかに繋ぐ手立てを講じる。あたりまえの事を積み上げていくことで心地よい時間と空間を共有するのです。

茶は服のよきように点て  
炭は湯の沸くように置き  
花は野にあるように生け  
夏は涼しく冬暖かに  
刻限は早めに  
降らずとも傘の用意  
相客に心せよ

やわからかに、今年も皆さまとの時間を重ねられますよう。

づかせているのだ、と。

## 縁日【毎月】



28日	不動明王	不動護摩堂	10時30分
24日	地藏菩薩	能満堂	13時
21日	弘法大師	弘法堂	10時30分(マルシェ)
18日	観世音菩薩	観音堂	13時
15日	阿弥陀如来	東山本堂	13時
13日	虚空蔵菩薩	能満堂	10時(露店)
8日	大日如来	大日堂	12時30分
5日	大随求明王	西山本堂	10時(露店)

## 講座一覧

講座WEB申込



講座名	講師	開催日時	場所	支具料	申込
住職と語らう—方丈の会—	西部法照住職	3/26・4/23・5/28 10時～12時	ライブラリーサロン 華宮	1000円 呈茶付	予約優先 公式サイト 講座カレンダー
阿息観	杉浦宣秀僧侶	毎月10・20・30日 14時～16時	観音堂	無し	不要
遊翠の心・阿息観	西山海良僧侶	3/25・4/22・5/27 10時～12時、14時～16時	竹翠亭	1,500円	要 公式サイト 講座カレンダー
遊翠の心・写経	西山海良僧侶	3/11・4/1・5/20 10時～12時、14時～16時	竹翠亭	1,500円	要 公式サイト 講座カレンダー
写経写仏 はじめて講座	興正寺僧侶	毎月21日マルシェの日 11時～14時	光明殿大ホール	1,000円	不要
御詠歌入門講座	鈴木智弘僧侶	3/1・15・29 4/6・19・26 5/3・17・31 14時～16時	光明殿大ホール	無し	不要
TERA-YOGA	西口のぞみ	毎月21日 10時～11時半、13時～14時半	観音堂	2,000円	要 公式サイト 講座カレンダー
曼荼羅講座(全10回)	中道圭照僧侶	4/27 ※5月、6月はお休み 14時～16時	普照殿2階暁堂	1000円 呈茶付	要 公式サイト 講座カレンダー
遊翠の心・きもの装い	竹翠亭職員	通年講座4月開講 新年度は1/21より申込受付	耕雲亭	2,000円	要 公式サイト 講座カレンダー

2025・春

令和7年1月21日発行  
発行所 八事山興正寺

TEL 052-832-2801

〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町78番地

<https://www.koushoji.or.jp>

興正寺 検索



公式サイト